

11 2003
NO.36

シカゴ地域との共生に一役！ JCCC基金が13機関の教育関連プログラムに 寄付金を贈呈

What's Inside

- ① 巻頭特集
2003年度 JCCC基金贈呈式
- ② シカゴ経済情報
2003JBF開催報告
- ④ 教育情報
シカゴ双葉会便り
- ⑤ JCCCアクティビティレポート
理事会報告（10月度）
JCCCオープンゴルフ大会開催報告
機械部品部会セミナー開催報告
物資・食糧部会バスツアー開催のお知らせ
中部国際空港関係者との懇談会開催のお知らせ
- ⑦ JCCCインフォメーション
2004年度新年会のご案内
（参加申込書・ベビーシッター申込書
/ 福引大会賞品ご提供のお願い）
JCCCNEWS広告掲載受付のご案内
2003年度 JCCC基金交付先
/ 教育関連プロジェクト一覧
- ②4 Coming Up
2004年度会員総会・新年会開催のご案内

本年度の JCCC基金贈呈式が 10月 21日（火）に The Chicago Club で開催された。今年の贈呈式では、日米交流事業を活発に展開しているシカゴ日米協会、日米評議会に加えて、地元学校関係者らが計画中の教育関連プログラム 13件（シカゴ市内 6件、郊外 7件）への 63,276ドルを含む合計 117,762,633ドルが交付された。

贈呈式の実施にあたり来賓として挨拶を行った IL州 ロバート・シラー教育長は、「JCCC基金により、幼児教育から高等教育に及ぶ教育制度の整備・充実を進めることができ大変感謝している。優れた教育システムの導入は、地域の経済成長および州内の福利増進に多に役立つもの。今後も良きパートナー関係を構築し JCCCと共に前進していきたい。」と謝辞を述べた。JCCC基金ではこれまで創設以来、13年間に亘りシカゴ地域の人材育成に貢献するべく教育プロジェクトに軸足を置いて基金を贈呈。これまでに基金贈呈総額の約 2/3にあたる 1,243,583,700ドル (243件) が教育分野の人材育成プログラムに交付されている。



挨拶に立つ Rシラー教育委員長

1991年シカゴ地域への地元貢献を目的に設立された JCCC基金は、13回目となる本年度の贈呈分も含めるとこれまでに延べ 220機関・317件に対して約 184万ドル余りの基金交付を行うなど地域社会との融和に大きな役割を果たしている。

本年度の教育関連プログラム選定にあたっては、応募のあった 103件のプロジェクトにつき、8～9月にかけてイリノイリソースセンター（州の教育支援機関）に審査を依頼。各案件ごとにプロジェクトの充実度、ニーズの高さ、子供達にどのような効果をもたらすのか、今後の継続性等を評価し、その結果をもとに、9月 22日の第 2回基金理事会においてシカゴ市内 6件、郊外 7件の計 13件を 2003年度基金交付先に決定した。

10月 21日に The Chicago Club で行われた 2004年度基金贈呈式には、JCCCを代表して坂場名誉会頭（在シカゴ日本国総領事）、日高基金理事長（住友商事）、中村専務理事（住友金属工業）ら 30名が出席、

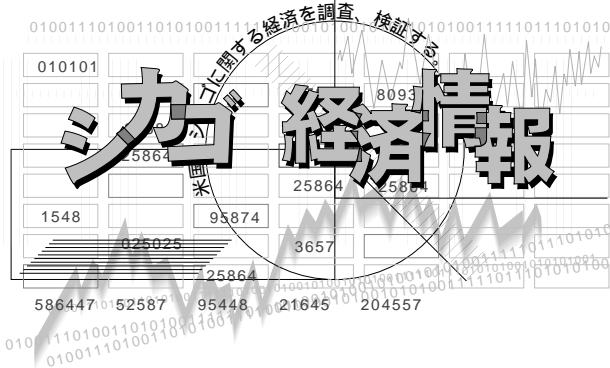
基金贈呈先関係者に祝辞を送った。席上来賓として挨拶を行ったケネス・ガン シカゴ人事委員会副委員長は、厳しい経済状況のなかで JCCC基金が毎年継続して地域貢献活動を実施していることを改めて高く評価し、感謝の意を表した。出席した交付先関係者らには、プレゼンターの JCCC役員・理事から順に申請額の小切手が贈呈され、その度会場では暖かい拍手に湧いた。（基金贈呈式出席者は全部で 70名）

交付先プロジェクトのなかには、子供達の夢や想像力・科学的考察力を育て自信をつけさせようと、ソーラー風力発電機を活用して冬の間も校内庭園で天気情報収集を行うプログラムや、シカゴ川を活用し環境の大切さを教える野外ワークショップ等がある。（今後事務局で基金寄贈先を訪問し、2004年度 JCCCニュース等で紹介していく予定です。）

なお今年度は、既にシカゴ日米 150年祭の実施やシャンバーグ少年少女交響楽団の日本訪問等に協力し基金贈呈が上半期に行われている。

JCCC幹部と交付先関係者





経営を展開していると説明。さらにシリコンバレーに代表されるような、いかに早く短期的に収益に繋げるかを主眼としたベンチャーキャピタル式ガバナンスが、CEOの長期的視点とバランス良く共存しており、これにより収益性に対するこだわりも出てくると強調した。

さらに吉原氏は、経営トップに立つ者は、常にグローバルな視点に立って、戦略・目標に必要な文化や価値観を自社が持っているのか、日本企業として人の価値の増加にどれだけ貢献しているか見直すことが重要だと指摘。組織効率を上げるためには、本当に価値を生み出しているプロセスを特定すべく聖域なしに評価していく必要があると語り、変革を「出来事」としてでなくプロセスとしてとらえ、その中で自分の役割を常に意識することが重要だとアドバイスを行った。また同氏は現在成功している会社は、業界の変化についていこうという企業ではなく、自ら変化を起こしていこうと努力している会社であると述べた。

JBF2003 米州大陸でのビジネス展開につき 情報交換！

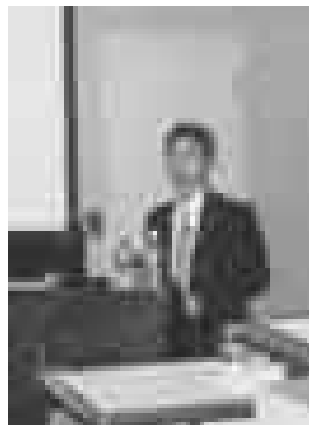
商工業政策運営委員会（古田委員長 新日本製鐵）では8月29日にOak Brook HillsでJBF2003を開催した。今回のJBFは、「逆風下に生き残る条件 / 米州大陸のビジネス戦略を探る」をテーマに実施。先行き不透明感の漂う米国経済動向を踏まえて、米州大陸でのビジネス展開のあり方を情報交換するなど1日ながら充実した内容となった。会期後に行った参加者アンケート調査では、回答者の9割以上が内容に満足との回答を寄せた。参加者は111名。

基調講演を行ったKPMG LLP / KPMG America取締役の吉原寛章氏は、グローバル高業績企業に共通する成功要因などを分析し、日本企業がグローバルマーケットで生き残っていくために必要な変革の方向性について解説した。最初に同氏は、現在の日本経済は足踏み状態であり、世界一のマーケットである北米市場に進出している日系企業に対して、日本本社の期待はさらに高くなるであろうと語り、グローバル競争を勝ち抜く上での在米日系企業の重要性を改めて示唆した。

次に吉原氏はKPMG社のデータにもとづき、戦後1946年から売上高・利益率がGDPの成長率を10%以上超え、かつ売上規模が200億ドルを超えるグローバル高業績企業を抽出して分析してみると、これら企業にみられる共通の現象として、CEOが平均13.14年間長期に亘って在籍し、明確なビジョンや戦略のもとに卓越した実行力でグローバル



基調講演スピーカーの吉原寛章氏



相吉みずほ総合研究所NY事務所長

次にみずほ総合研究所ニューヨーク事務所長の相吉宏二氏は「米州地域における経済の現状と展望」について解説。中南米主要7カ国は、2001~02年にかけての低迷から総じて脱出しつつあり、特にアルゼンチンやブラジルでは回復基調の兆しをみせていると指摘。一般的に中南米経済はやや良くなってきているが、為替安というプラス要因がはげ落ちてきている一方で社会不安を抱えていることから、更に景気回復が加速するとは考えにくい、米国経済が良くなるに連れて引っぱられて良くなるのではないかという見方を示した。

またNAFTA以来、米国・メキシコ・カナダ3国の繋がりが強化され、米国経済の伸びとメキシコの動きがほぼ平行であると説明。メキシコ経済回復基調の足取りがやや重いのは、米国経済減速の影響並びにアジアへの生産拠点の移転という構造的問題があると指摘を行った。

続いて相吉氏は、米国経済について最近明るい統計が相次いで発表されてきており回復期待が高まっていると説明。企業部門では、出荷の伸びはそれほどではないものの、在庫の調整局面は終わって設備投資がプラスに転じてきており、設備稼働率も転換点を迎え始めたことから、今後企業経営者が投資、雇用を本当に



村松えむ・えむ国際交流協会代表

増やしていく動きが出てきてもおかしくないとの考えを示した。ただし現在、米国経済は2つの深刻な問題を抱えており、1つは貯蓄・投資部門のバランスの悪さ、もう1つは「2005年問題」であり、2004年11月の総選挙終了後、財政を元に戻さなくてはならないとなると、米国経済が政策転換を乗り越えられるのどうかについては懸念が募ると述べた。

午後からの講演では、えむ・えむ国際交流協会の村松増美氏が、同時通訳として世界の著名人をサポートした経験談やサイマルインターナショナル社の和議申請からどのように立ち直ったのか等についてユーモアを交えて紹介。なかでもレーガン元大統領と思いがけず親しくお話をした後一緒に写真に収まったが、大統領の隣にいた村松氏に無関心だったナンシー夫人については、彼女のドレスの袖以外は写真フレームから外して飾っていると説明。“Don't get mad, get even.”と聴衆を笑わせた。またアメリカ人ビジネスマンとの交流にユーモアが重要と説く村松氏は、“Self-effacing humor”は自分を威張らないユーモアのセンスであり、“Healing Jokes”は苦しんでいる人を癒すためのジョーク、“Embracing Kind of Humor”は過去を忘れてお互いを terms of endearment で呼び合う種のユーモアで、いずれも日本人に必要なものではないかと指摘した。

次にインターナショナル SOS社の南北アメリカ地域担当セキュリティ・ディレクターであるスティーブン・ケルナー氏が「南北アメリカ地域のビジネスリスク最新動向」について紹介した。最初に同氏は、ラテンアメリカ地域の犯罪数は世界平均の2倍に達しており、日系企業がビジネスに関わっていく場合は、各地域における最新の政情や治安情勢を入手できる体制を構築して欲しいと強調。

続いてケルナー氏は、メキシコ、ベリーズ、グアテマラ、トリニダードトバゴ、アルゼンチン、ブラジル、コロンビア、ベネズエラ、キューバ、ジャマイカ、ハイチの各国最新治安情勢について報告。その後カナダ、アメリカの危険度などをレポートした。また同氏は、ラテンアメリカ地域は、失業率の上昇や貧富差の



インターナショナル SOS社のケルナー氏

拡大等により危険度が増加すると指摘し、各国の政情の安定度、経済改革の動向を注意深く見守る必要があると述べ講演を終えた。

最後に行われた会員企業事例発表では、まずコマツラテンアメリカ社の寺戸義徳社長が「コマツにおける中南米市場への取り組み」と題して発表。寺戸氏は、中南米市場の建機に関するマーケティング・販売拠点として、1986年にフロリダ州のマイアミに拠点を構えた主な理由として、中南米各都市に効率良くアクセスできること、商品の輸送・配達面での優位性があったと指摘。現在ではフロリダに倉庫も設置し28カ国・40代理店をカバーしていると紹介した。またコマツと中南米市場との関わりは、1973年にブラジルでブルド・ザー製造工場の創業を始めてから本格化してきたと語り、コマツ全体の売上に占める中南米市場の割合は4%にすぎないものの、ブラジルの需要は南米の50%を占め重要な役割を果たしていると述べ、1995年からは小型ブルドーザーの生産をブラジルに一極集中している等と紹介した。

続いて「我が社におけるメキシコ市場進出事例」と題して発表を行ったジニニコ（香料製造・販売）の鶴賀政行社長は、2000年8月に現在のポジションに就いてから、北中南米地域の人々の嗜好に合った商品販路拡大に重点を置く一方、パッケージ包装などに工夫をこらし付加価値を高める努力を行ってきたと紹介。その結果、アメリカ国内でも約2社の代理店グループを通じてスーパーマーケットや薬屋で販路拡大を実現できたほか、メキシコ市場進出にも成功することができたと言った。さらに鶴賀氏は包装の規制などを解決する上で英語とスペイン語のバイリンガル社員の存在が大きかったと指摘し、メキシコ市場参入には米国市場参入以上に忍耐力が必要だと強調した。

このほか、今回のJBF2003では、昼食会にイリノイ州経済開発局のロス・ハラノ貿易局長が参加。新知事のもとで貿易局長に指名されたハラノ氏は、イリノイ州では貿易パートナーとしての日本を高く評価しており、今後も日系企業の進出などをお手伝いしていきたいと抱負を語った。



挨拶に立つロス・ハラノ貿易局長

◆教◆
情 報
◆育◆

シカゴ双葉会便り

シカゴ日本人学校(全日校)の
特色ある教育活動

～図工・美術授業～

シカゴ双葉会日本語学校全日校
専科教師 安田 道雄氏

私は、現在、シカゴ日本人学校で小学部1年生から中学部3年生までの9クラスの図工・美術の授業を担当しています。シカゴ日本人学校での勤務も3年目ということで、残りわずかとなりました。今回、シカゴ日本人学校での図工・美術指導の様子をお知らせしたいと思います。

シカゴ日本人学校の児童生徒達

こちらに来るまでの私は、25年間中学生相手の美術を指導してただけでした。そのため、小学生の図工指導に一抹の不安を持ちながら赴任してまいりました。しかし、こちらに来て直ぐにその不安は消えてしまいました。シカゴ日本人学校の小学生は誰もが図工好きで、週に1度の授業を楽しみにしてくれています。何かの都合で図工授業が欠けてしまった時など、廊下ですれちがうときなどに「なぜ、今週は図工ないの？。つまんない!!」とブーイングを浴びせられます。「来週は、また楽しくやろうね」と慰めながら、子供達の意欲にとっても嬉しい気持ちにさせられる毎日です。同様に、中学生も素直でまじめな生徒達ばかりで、毎時間真剣に美術に取り組んでくれています。



小1 インディアンの子供達



中3 サンドアート制作風景

教材探し

こうしたすばらしい子供達に恵まれている私にも、唯一苦労があります。それは、教材探しです。日本では、使いたい教材は様々なカタログから選択して発注すれば簡単に手に入ったものですが、アメリカではそうはいきません。カタログもあるにはあるのですが、アメリカの材料を自分の手にとって確認し、実際に使ってみないことには教材として適しているかどうか分かりません。(英会話力のない私が、間違えずに発注するのが困難ということも多分にあるのですが。)最初は、地図を片手に教材を扱っていきそうな店を開拓していくことから始めました。こちらでは、日本と違って、教育のための教材購入にはタックスがかからないというすばらしい制度があります。しかし、このすばらしい制度が私にとってはとてもつらい制度となりました。教材購入の度に、店員からタックスフリーのためのフォーム書きを求められるからです。店によってその書式も異なりますし、店員

から色々質問されたりすることもあります。そうしたことから、書類書きを手間取っていると、レジにはきまって長蛇の列が出来てしまいます。多くのアメリカ女性のブーイングが背後から聞こえてきそうで、買い物が終わる頃には冷や汗びっしょりということが度々でした。近頃になって、なんとなく「アメリカ人はレジで並ぶことを日本人ほど苦痛とっていないみたいだ。」と自分で勝手に解釈してからは、落ち着いて買い物ができるようになってきました。

こちらの店に入って驚くのは品物の数と種類の豊富さです。特にクラフト関係は日本の比ではありません。キャンドル材料、ミニチュア模型材料、ビーズ細工材料、造花材料、ステンドグラス材料、グルー類、ペイント関係、スタンプ類、額縁素材、部屋のデコレーション材料等々、わくわくするほど楽しいクラフト材料が置いてあります。これは、多分にアメリカの女性達が無類のクラフト好きで、手作りのクラフトで家を飾るのが大好きだという国民性から来るのだと思われます。(シンプルを好む日本人には、少々飾りすぎに思えるかも知れませんが。)私も、こうした材料を日々活用しながら、子供達と楽しく図工・美術授業を行っています。

日本とアメリカの美術教育

現地校を訪問した時とか、公共施設等に飾ってある子供たちの絵をみる時、マーカー類で描かれた作品を多く見ます。日本の図工では水彩絵の具を頻繁に使いますが、アメリカでは着彩の手段の主流はマーカーのようです。先日開催された日米交流150周年ポスター展でも、現地校の子供達の作品のほとんどがそうしたものでした。必然的に、短時間に完成させるイラスト的描き方が多かったように思います。従来、日本では水彩絵の具と筆で時間をかけてじっくり作品を制作させることが多かったと思います。しかし、新教育課程の導入によって、美術・図工の授業時数の大幅減や、イラスト指導が目標に加えられたりしたことなどから、これからの日本も、アメリカ的な作品づくりのスタイルに変化していく可能性が多分にあるのではと心配しているところです。

おわりに

シカゴに来て一番うれしかったことは、シカゴ美術館でスーラの代表作「グランドジャット島の日曜日の午後」を見ることができたことです。こんな世界的な名画を、柵もなしに30センチ程の距離でじっくり見られるなんて夢のようです。(もし、日本にこの絵が貸し出されたら、きっとその美術館は長蛇の列で、入館まで1時間待ちくらいの騒ぎになるでしょう。)アメリカには、その他にもすばらしい美術館がたくさんあります。保有している作品も信じられないくらいレベルの高いものです。あまりにも身近にありすぎて、その重要性に気づかないことはよくあることです。生徒達には、美術館に足を運んだり、豊富な材料の揃っているシカゴで作品作りを存分に楽しんだりして、豊かな経験をたくさんしてほしいものです。そして、美術に親しむことによって豊かな感性と情操を養ってほしいと願っています。

理事会報告 (10月度)

日時: 10月21日(火)

議題:

(1) 会員入退会

会員入会
正会員

社名: LYNDEN- N KKEN, NC.
リンデックス 日研

代表者名: 入江 元氏 (Mr. HAJIME RE)

業種: 工作機械用ツーリング、
ロータリーテーブル及び付属品の販売

部会: 機械・機械部品

推薦会社: 山善、ゴータ

連絡先: 1468 Armour Blvd., Mundelein, IL 60060
TEL: 847-367-4800 FAX: 847-549-6872
URL: www.lyndexnkken.com
Email: gen@lyndexnkken.com

賛助会員

社名: SOKO AMERICA CORP.
ソーコー アメリカ

代表者名: 野々部 正範氏
(Mr. MASANOR INONOBE)

業種: 自動車部品の販売

推薦会社: 住友金属工業、損害保険ジャパン

連絡先: 11410 Melrose Ave., Franklin Park, IL 60131
TEL: 847-451-1400 FAX: 847-451-1478
Email: nonobem@msn.com

個人会員

氏名: ナオミ・ヴェンチュラ・ブロッック氏
(Ms. NAOMI VENTURA BULLOCK)

推薦会社: 後藤ディストリビューション、
キマタ・パーソナル&コンサルティング

連絡先: 504 Fennell Ln., Schaumburg, IL 60193
TEL: 847-891-0916

会員退会

正会員

ぺんてる オブ アメリカ (日本人不在のため)

個人会員

フィリップ・カシア氏 (帰国により)

会員区分の変更*

コーベット、ダンカン、ハプリー会計事務所が賛助
会員から正会員へ

* 10月理事会資料への記載漏れを訂正すると共にお詫び申し上げます。

以上により会員総数は494件(内訳: 正会員358件、賛
助会員32件、個人会員103件、名誉会員1件)となった。

(2) 理事異動

【理事異動】

味の素

(旧) 鈴木 明氏
(Mr. AKIRA SUZUKI)

(新) 霜鳥 一浩氏
(Mr. KAZUHIRO SHIMOTORI)

NEC三菱電機ディスプレイ・オブ・アメリカ

(旧) 山崎 貞夫氏

(Mr. SADAO YAMAZAKI)

(新) 寺本 武司氏

(Mr. TAKESHI TERAMOTO)

クボタ

(旧) 田畑 芳彦氏

(Mr. YOSHIO TABATA)

(新) 馬越 匡氏

(Mr. TADASHI UEMAKOSHI)

三井住友海上火災保険

(旧) 斎藤 剛氏

(Mr. TAKESHI ISAITO)

(新) 宇野 耐三氏

(Mr. TAIZO UNO)

【理事就任】

コーベット、ダンカン、ハプリー会計事務所
藤本 光氏 (Mr. HIKARU FURUMOTO)

【理事辞任】

ぺんてる オブ アメリカ

小海 長太郎氏 (Mr. CHOTARO KOMI)

* 登録社名変更 *

JETRO

(旧) 日本貿易振興会

(新) 独立行政法人日本貿易振興機構

(3) 双葉会シカゴ日本語学校に関する報告

(4) 第2回 JCCC基金理事会開催結果報告

(5) 2004年度代表役員選挙の実施

(6) 運動部主催

10/11 JCCCオープンゴルフ大会開催結果報告

(7) 商工業政策運営委員会関連

10/29 機械部品部会主催セミナー

「製造現場のマネジメントに役立つ英語表現と
知っておくべきビジネス・カルチャー」

11/14 運輸・観光部会主催 中部国際空港関係者
との懇談会

11/28~29 物資食糧部会主催

セントルイス・スプリングフィールド視察バスツアー

(8) 第1回新年会実行委員会の開催について (11/5)

(9) JCCCホームページ上にビジネスセクション

「シカゴビジネス支援コーナー」開設

(10) イリノイ会関連

クリスマスパーティ (12/19)

イリノイ会冬のツアー (2/14~16)

(11) 事業報告・予定

(12) 在シカゴ日本国総領事館からのお知らせ

JCCCオープンゴルフ大会 「内閣総理大臣杯」開催報告

JCCC運動部（部長：成迫若水氏 / 松下電器産業）では、2003年度 JCCCゴルフの総決算である JCCCオープンゴルフ大会「内閣総理大臣杯」を10月11日（土）にヒルデールゴルフクラブにて開催した。半袖でもプレーできそうな暖かい天候に恵まれ、120名の会員家族が参加し、優勝を目指して日頃の腕前を競った。

大会後の表彰式では、成迫運動部長及び坂場三男名誉会頭（在シカゴ日本総領事）よりご挨拶頂いた後、まず本年度 JCCCゴルフ運営委員をお務めいただいた方々をご紹介します。続いて JCCC月例ゴルフ大会成績上位8名によるマッチプレー選手の結果発表及び表彰が行われた。男性ベストグロスでは74を記録した富士機械製造の木村直滋氏、個人会員の東谷伸氏、また女性では高田ヨウコ氏が表彰された。ダブルペリア方式で競われた JCCCオープン大会の優勝は、阿部直史氏（ゲンカイ・ポーセレン・デンタル・スタジオ）。準優勝は宮川政規氏（豊田自動織機）、3位には大角光寿氏（NTN）が輝き、それぞれ各航空会社提供の航空券が贈呈された。その他上位入賞者は以下の通り（敬称略）。また航空券特別賞が、小原建次氏（30位 / 椿本チェーン）、出来谷勇氏（60位 / 友友重機械）、後藤美郎（90位 / 後藤ディストリビューション）に、それぞれ贈られた。今大会では参加者120名中約半数が100をきり、上位30位は90をきるといふ好スコアをマーク。その後の表彰式では豪華賞品の数々に会場が湧き、実力伯仲のなかにも和気あいあいと会員交流をする一日となった。

なお、今大会の開催にあたりご協力いただいた各社は以下の通り。（*ご協力いただきまして皆様に御礼申し上げます）



優勝した阿部氏（右）に内閣総理大臣杯を授与する坂場名誉会頭 <上位入賞者>

- 1位 ABE Naohito, GENKAIPORCELAN DENTAL STUDIO
 - 2位 M YAGAWA Masanori, TOYOTA INDUSTRIES NORTH AMERICA, INC.
 - 3位 OSUMIKOJYU, AMERICAN NTN BEARING MFG. CORP.
 - 4位 YANAGISAWA Ikuo, MAZAK CORPORATION
 - 5位 TAKADA Masayuki, TIGER FLEX
 - 6位 KANADA Yasumasa,
 - 7位 SAITO Takeshi, MITSUBISHI INSURANCE
 - 8位 KMURA Naoki, FUJIMERICA CORP.
 - 9位 AZUMAYA Shin, MATSUBISHI AMERICA, INC.
 - 10位 SHIBATA Nobuyuki, YANMAR DIESEL AMERICA CORP.
- <ベストグロス賞> 男性 木村直滋氏（富士機械製造）、東谷伸氏（個人会員）
女性 高田ヨウコ氏
- <ニアピン賞> 4番 高田ヨウコ氏 8番 田村和昭氏（ミットヨ）
13番 東谷伸氏（個人会員） 16番 東谷伸氏（個人会員）
- <ドラコン賞> 7番 吉田敦氏（東京三菱銀行）14番 尾関雄二氏（ユニタイト）
- <レディース賞（女性最高順位）> 尾関ミサコ氏
- <ご協力各社>

[賞品幹事会社] JTB USA (ジェイティービー)
[スコア集計協力会社] ITA, Inc.
[協賛企業] アメリカン航空、Claridge Hotel, コスモサービス・アメリカ社、Crowne Plaza North Shore, Crowne Plaza Silverdale, Donald Englewood Resort, Hilldale Golf Club, Hotel InterContinental Chicago, Imperial Hotel Tokyo, ITA, 日本航空, JTB USA, Keio Plaza Hotel, 増田・舟井・アイファート&ミッチェル法律事務所、松下電器産業、ミツワマーケットプレイス、ノースウエスト航空、Oak Brook Hills Resort, ユナイテッド航空 英文社名ABC順)

機械部品部会ビジネスセミナー実施報告

JCCC機械部品部会 部長：前川真一郎氏 / カヤバ工業では、10月29日（水）にヒルデール日本館において「製造現場のマネージメントに役立つ英語表現と知っておくべきビジネスカルチャー」と題して、インターカルチュラル・コンサルティング社（本社・シカゴ）のロッシェル・カップ社長とティム・サリバン氏をお招きしビジネスセミナーを実施した。テーマは、生産管理における情報の確認、明確化、依頼の方法、現場主義の説明とフィードバックの伝達、生産現場におけるコミュニケーションミスの解決、作業者との円滑なコミュニケーションとは、整理整頓の欠如に対する安全対策と5S。日本人が英語を完全に理解しないのは当たり前前で、わかった振りをするの方がよほど危険である等、製造現場を預かる立場にある日本人従業員が現地人と効果的にコミュニケーションを取る

上で留意すべき点を、講師陣の経験談を交えて解説。わかりやすいケーススタディー方式の講演に受講者が熱心に耳を傾ける姿が見られた。場所はヒルデール日本館、参加者は81名。



セントルイス・スプリングフィールド視察バスツアー実施のお知らせ

物資・食糧部会 部長：大春敬氏 / 東洋インキ製造では、今年の感謝祭シーズンに併せてセントルイス・スプリングフィールド視察バスツアーを実施する予定。今回の訪問では、イリノイ州の州都スプリングフィールドでのリンカーン大統領邸等見学、ミズーリ州セントルイスではゲートウェイアーチ、世界一の販売量を誇るパドワイザー社ビール工場の見学、西部開拓の入り口となったユニオンステーション訪問など、中西部の名所を11月28~29日迄1泊2日で手軽に楽しめるよう企画している。

中部新国際空港関係者との懇談会実施のお知らせ

運輸観光部会 部長：寺嶋隆氏 / 米国日本通運では、11月14日午後2時より Ramada Plaza Hotel O'Hare Chicagoにおいて、2005年開港予定の中部新国際空港 株 平野幸久社長はじめ一行幹部4名をお迎えし、現在の開港準備状況などをご紹介頂く。

JCCC新年会
『福引大会』!

賞品のご提供およびご寄付のお願い

～皆様の応援と協力で楽しい新年会を！～

JCCC新年会実行委員長
中村敦（住友金属工業）

来年2004年度の新年会には特別ゲストとして漫談家の綾小路きみまろさんをお迎えし、参加者の皆様にお楽しみ頂く予定です。さらに今回も、JCCC新年会名物の『福引大会』を企画しております。例年皆様のご協力により豪華賞品をご提供いただき、参加者にとりまして大きな楽しみとなっております。つきましては、皆様方会員から広く新年会での福引賞品のご提供又はご寄付のお願いをここに申し上げますので、何卒格別のご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

JCCC新年会 賞品提供・ご寄付申込書

締切日：2003年12月17日（水）JCCC事務局必着

申込書を賞品・ご寄付と共に郵送、あるいは事前にファックス送信してください。

401 N.M ichigan Ave. Suite 3145 Chicago, IL 60611 /A tn:Yuko Kawaguchi /FAX : 312-822-9773

貴社名（和文）：

担当者氏名：

直通 TEL：

協力社リストへの掲載希望の有無： 希望する 希望しない（レ印をおつけください）

賞品のご提供

* ご提供頂いた賞品は原則的に金額順で福引大会の等順とさせていただきます。但し、ご提供賞品の金額は公表いたしません。なお、高額賞品上位数社は当日司会者が貴社代表者をご紹介申し上げますので、壇上にて当選者への賞品授与をお願い致します。（後日追って事務局よりご連絡致します。）

1) ご提供賞品： 名称/価格/個数/賞品の引渡し方法につき以下にご記入下さい。
（賞品の引渡し方法につきましては、該当するものに丸印を付けてください。）

2) 引渡し方法に関する注意事項：

A 提供賞品を事務局に事前送付いただく場合：12月17日（金）必着でお願い致します。

・賞品が壊れないような包装で送付願います。（直接持参も可）

B 当日会場持参の場合：午前11時までに会場内の「賞品受渡し場所」までお持ち頂き、必ず事務局担当者に手渡してください。（受付ではありませんので、ご注意下さい。）

C 後日当選者に賞品を貴社から送付頂く場合：当日、貴社担当者から新年会賞品担当委員に貴社賞品当選者の住所・氏名などをご確認願います。

・ご提供賞品が大型で持参できない場合や当日までに手配が間に合わない場合は、この方法を選択して下さい。但し、当日の当選人には賞品のカタログもしくは目録を手渡したく存じますので、提供賞品のカタログ・目録を本状に必ず同封して下さい。

ご寄付賞品名（日本語名）	\$ 市価（単価）	個 数	賞品の引渡方法		
			A 事務局宛送付	B 当日会場持参	C 後日当選者へ送付
（記入例）一眼レフ・カメラ	\$ 3 0 0	2			

ご寄付

* 1社/一口：原則 100ドル以上のご寄付をお願い致します。なお、貴社から頂戴したご寄付は、当委員会にて商品券などを購入の上、福引大会の賞品代等に充当させていただきます。

（ \$ ）を2004年度 JCCC新年会に寄附します。

寄付金を申込書と同封

寄付金を後日送付（レ印をつけて下さい）

ご協力頂いた会社名リストは、新年会席上において参加者全員に配付する予定です。賞品のご提供、ご寄付等で匿名希望の場合は、上記「リストへの掲載を希望しない」にレ印をおつけ下さい。

申込み・問合せ： JCCC事務局（担当：川口友子）までお願いいたします。

TEL: 312-332-6199 ext25 FAX: 312-822-9773 E-mail: kawag@jccc-chi.org

2004年度「JCCC NEWS CHICAGO」 広告掲載受付のご案内

毎号「JCCC News CHICAGO」をご愛読頂き、あわせて数多くの広告やお知らせの媒体としてご利用頂き、誠にありがとうございます。

現在、JCCCでは、下記の要領にて、2004年度の「JCCC News CHICAGO」広告掲載の申し込みを承っております。当機関誌は、本所会員向け（約220部）に毎月無料郵送配付され、シカゴ地域の日本社会に広く行き渡っております。どうぞ、貴社の広告・宣伝、各種イベントのお知らせ・ご案内に「JCCC News CHICAGO」をご利用下さい。

記

1. 印刷：Black & White
2. 発行日及び原稿締切日：毎月（1&2月・8&9月は合併号）下旬発行、前月末原稿締切
3. 掲載場所：Back Inside LastPage以外の掲載場所の指定はお受けできません。
4. 掲載料金（月額）・サイズ：

掲載場所・サイズ（縦×横）	会員料金 月	非会員料金 月
Back Inside Cover (9 3/4" x 7 1/4")	\$440	N A.
Last Full Page (9 3/4" x 7 1/4")	\$420	N A.
Full Page (9 3/4" x 7 1/4")	\$400	\$660
1/2 Page (4 5/8" x 7 1/4")	\$200	\$330
1/4 Page (4 5/8" x 3 3/8")	\$130	\$220

広告原稿制作費は当広告掲載料金には含まれません。

5. 申込み方法：下記申込用紙にご記入の上、FAXでJCCC事務局までお申し込み下さい。尚、広告スペースの関係上、ご希望に添えない場合がありますので予めご了承下さい。お申込み締切り後、事務局より掲載内容の最終的な確認のご連絡を貴社までさせていただきますので、お申込み段階での小切手の送付は不要です。
6. 申込み締切：2003年12月12日（金）
7. お問い合わせ：JCCC事務局 川口友子 TEL:312-332-6199 ext25 FAX:312-822-9773 kawag@jccc-chi.org

尚、2003年版「JCCC会員名簿」への広告掲載申し込みは2003年2月に開始します。

-----TO:JCCC (Fax:312-822-9773)-----

ADVERTISING INSERTION ORDER FOR 2004 JCCC News CHICAGO

Company Name: _____

Contact Person: _____ E Mail: _____

Address: _____

Tel: _____ Fax: _____

AD Place & Size: () Back Inside () Last () Full () 1/2 () 1/4

Duration: () 1 Year (10 months)

() Specific month(s) <1& 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8& 9, 10, 11, 12> Make (a) circle(s) month(s)

Payment: () FULL () QUARTERLY

綾小路きみまる 爆笑ライブトークショー in Chicago!

2004年の新年会ゲストは、演歌司会者から3年前に漫談家に転向した綾小路きみまるさん。昨年9月に発売した漫談CDが並み居る人気歌手を押しつけてオリコンヒットチャートの上位に進出。わずか1年足らずで100万枚を突破しミリオンセラーを記録。中・高年への強烈な皮肉、毒舌が受け、テレビ、ステージ、イベントに引っ張りだこ。10月には「潜伏期間30年」の秘話から人生哲学までを綴った「きみまる流」(PHP)を出版するなど50歳を過ぎてから大活躍。半年先の公演も予約がいっぱいの人気漫談師がJCCC新年会で爆笑ライブトークショーを行います。同僚・ご家族揃ってご参加下さい。また会員企業提供による豪華賞品福引大会もお楽しみに!

日時：2004年1月11日(日) 午前11時～午後4時(予定)

会場：ローズモント・コンベンション・センター

概要：午前11時00分～ 会員総会 (10時～受付開始)
午後12時00分～ 新年会スタート(予定)
午後12時30分～ 昼食
午後1時30分～ 綾小路きみまる爆笑ライブトークショー
「有効期限の過ぎた亭主、賞味期限の切れた女房」



午後 3時00分～ 豪華福引大会

費用：大人\$60 (ベビーシッター...\$35)

申込み：P7「JCCC新年会参加申込書」をご参照下さい。

当日、会場内に託児コーナーを設け、10:30～15:50まで新年会参加者のお子様(6ヶ月から12歳まで)をお預かり致します。先着105名様まで。申込みは、P8「ベビーシッター申込書」をご利用下さい。

Coming Up

中部国際空港関係者との懇談会
11月14日(金)
Ramada Plaza Hotel O'Hare Chicago

正副会頭会議 / 定例理事会
第2回商工業政策運営委員会
11月18日(火)
ヒルデール日本館

セントルイス・スプリングフィールド
視察バスツアー
11月28-29日(1泊2日)

正副会頭会議
12月9日(火)
ヒルデール日本館

第2回新年会実行委員会
12月10日(水)
ローズモント・コンベンションセンター

JCCC総会 / 新年会
2004年1月11日(日)
ローズモント・コンベンションセンター

JCCC

JAPANESE CHAMBER OF
COMMERCE & INDUSTRY
OF CHICAGO

401 North Michigan Avenue
Suite 3145

Chicago, Illinois 60611

Tel: 312-332-6199

Fax: 312-822-9773

www.jccc-chi.org

E-mail: jccc@jccc-chi.org

発行

シカゴ日本商工会議所

製作

MGA, Inc. (セヨグラフィックアーツ)

デザイン協力

平野デザイン・インターナショナル